

<白金標準、外的な要因で抑えられても形は 4500 円へ向けた戻り・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領のパウエル FRB 議長に対する利下げ強要や解任発言を受け、逃避の動きが強まるも、イースター明けにはトランプ大統領が解任を否定し、市場は落ち着きを見せている。特に白金標準先物は、一時 4412 円まで戻りを見せるもトランプ大統領の発言で一時 4265 円まで下値を模索するも、否定の発言を受けてリスクの巻き戻しから 4400 円まで戻りを見せている。特に新甫 4 月限の発会を受け、既存限月で見ても 4388 円の発会は安値発会であり、行き過ぎた水準での発会に思える。特に一代棒で見た場合、新甫発会の 4388 円を再度上回った場合は、高値追いの可能性が強くなる事から今週の 4388 円超えには注目したい。また 5 月に入ると 4 月の雇用統計で失業率が 4.3%を超えると 6 月の FOMC で利下げ期待が高まると思える。また第 2 週以降はロンドンで毎年開催されるプラチナ・ウィークにおいて JM 社が PGM マーケットレポートを発表し、13 日には WPIC2025 年第 1 四半期 PGM 需給報告が発表されるなど関税リスクの落ち着きから需給要因へ移行する時間帯に入る事から 4300 円を固めながら 4500 円へ向けた戻り基調を続けると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル** も上昇を維持している。また RCI では**短期**が下げながら、**長期**は切り上げている。特に日足が切り上げている **10 日移動平均線**で抵抗を見せるなど下値が堅い値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,455,000 円(2025 年 4 月 21 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2025 年 4 月 21 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>